



碧 空

平成 24 年
5 月 11 日 (金)

第 2 号

本年度の学校目標の重点・取り組みについて

本年度も本校の伝統・理念とする「切磋琢磨」「自主高潔」のもと、学校目標の「たくましい人になる」(○ 課題をもって取り組む生徒 ○ ねばり強くやりとげる生徒 ○ 自他を尊び、共に歩む生徒)という生徒像の達成を目指して、次のことを重点目標として全職員で力をあわせて取り組んでいます。

本年度の目標とそれを達成させるための重点活動

確かな学力と創造・表現力の育成

- ・ 1時間の授業の充実
- ・ 家庭学習の充実を図る指導
- ・ 表現の対象を集団へ広げる指導
- ・ 関わり合いながら解決する場の設定
- ・ 一人ひとりが主体的に活動し、創り上げる校友会への支援

豊かな人間性の育成

- ・ 人権同和教育・道徳の充実
- ・ 人間関係づくりを中心とした学級活動
- ・ 体験的・参加型学習を重視した学校行事等
- ・ 地域の自然環境や施設を活用したボランティア、連携事業

心身の健康とたくましい力の育成

- ・ 生活記録、生活習慣調査、教育相談等による生徒の思いや状況の把握と支援
- ・ 「時を守り、礼をつくし、場を清める」ことができる生徒の育成

Action

- 本年度の目標と重点活動の見直し・改善
 - ・ 評価結果(データ分析、自由記述等)と具体的な改善の方向(取り組み等)を迅速に公表
- 次年度の目標と重点活動の設定
 - ・ 指導内容・授業展開・指導時数の見直し
 - ・ 年間行事計画や日課表、校内組織の見直し

Check

- 重点目標を中心に、各項目の評価の基準を明確にして、評価を実施
 - ・ 9月と1月に生徒・保護者の「学校自己評価アンケート」実施
 - ・ 6月と11月に「いじめアンケート」実施
 - ・ 12月に「授業評価アンケート」実施
 - ・ 5月と11月に「QU調査」実施
 - ・ 11月と2月に学校評議員による授業参観と学校自己評価アンケートの結果から評価
- 学力検査の結果分析と指導改善
 - ・ 全国学力学習状況調査・NRT検査・PDCA調査の実施と分析、指導改善
- 経年評価の継続と成長点と課題の明確化

Do

- 学力向上
 - 時間に始まり、時間で終わる授業
 - 生徒主体の課題設定と個人・全体追究、そして生徒の言葉による振り返りやまとめのある授業
 - 家庭学習の課題の明確化、励みになる評価の実施
 - 表現の場の設定と表現方法の工夫の指導
- 校友会活動
 - 学校生活の向上や明るい校風づくりを目指し、校友会が主体となる活動の充実を図る支援
 - 地域の自然環境や施設を活用したボランティア活動や小中高連携事業の充実
- 道徳・人権同和教育
 - 「差別をしない、させない、見逃さない」という人権感覚が育まれるような道徳の積み重ねや人権同和教育月間を通した集中的な取り組み
 - 人間関係づくりを中心とした学級活動や体験的・参加型学習を重視した学校行事等の実施
 - 学校での学びを家庭に伝えたり、保護者とともに学べたりするような道徳・人権同和教育の工夫
- 心身の健康
 - 基本的な生活習慣の確立
 - ・ 「時間を守る」…ノーチャイムデー、遅刻撲滅
 - ・ 「礼をつくす」…あいさつ、返礼
 - ・ 「場を清める」…黙々清掃、時間一杯取り組む
 - 生徒の思いに寄り添った相談体制の確立
 - 部活動や社会体育等の取り組みの支援と発信

5月の校長講話より

新学期がスタートして1ヶ月。新1年生や新任職員はもちろん2・3年生やこれまでいた学校職員が新しい気持ち・やる気で学校生活や授業に取り組み、常盤中学校全体の雰囲気が変わってきました。今年度の常盤中学校を「こうしたい」という夢や願いを持ち目標を立てて取り組んできている活動として、集会時の入退場や清掃時の静かさ・学習に向かう姿勢や家庭学習の内容等に手ごたえを感じています。

そして、先日の校長講話では、校長先生から「夢を目標に変える力」というお話をしていただきました。今年の修学旅行で出会った中学校卒業後に舞妓さんの世界に進んだ「さとはるさん」(16歳)の話、「一流のプロ野球選手になる」という夢を叶えるため目標を持って努力したイチロー選手の話。さらに、校長先生自身のその時々々の夢と目標の話。

生徒たちは、その夢を持つことが今の生活を充実させ、夢を実現させる努力の大切さを感じたようです。

イチローも日々の努力があったから今のイチローがいるんだと改めて思いました。僕も野球もやっています。小学校の時、イチローにとっても憧れていました。僕もイチローみたいに上手になりたいという夢を持ちイチローの本を何冊か読みましたが、とても大変だと思います。

たぶん野球に対する気持ちがイチローより小さいんだと思いました。(2年男子)

夢に向かってこだわり続けることが、一番大切だと思いました。どうせ一度きりの人生なのだから、派手な夢をもって派手に好きなことをやって派手に自分の今の夢を叶えてやろうと思います。努力することが苦手で、なんでも運任せに世を渡ってきた私ですが、今日をきっかけに何か一つ努力してみようかと思います。「今の自分は、十年後から戻ってきた自分だ」と思って、頑張ってみようと思います。(3年女子)



5月5日(土) 昭和41年度3組卒業生(恩師:常盤中学校第12代校長・宮澤禧美夫先生)より、一昨年度に引き続き、武道場駐車場の環境緑化のためにハナミズキ3本を前回の2本の隣に植樹していただきました。

ちょうど、赤・白・赤・白・赤という縁起の良い色合いに植えられています。

ありがとうございました。

< 学校生活の一コマ >



修学旅行(東大寺大仏殿)

2泊3日の修学旅行。汗ばむ陽気の中、奈良・京都という日本の歴史の舞台を巡ってきました。大仏殿では、奈良の大仏の大きさに、改めて驚いたようです。



満開の桜の下で

例年に比べ開花が遅れた校庭の桜。

修学旅行中に満開を迎えましたが、3年生にとってこの桜の下での記念写真は今年が最後となります。



補充学習スタート

清掃・学級活動の後の1時間、静かな雰囲気の中で、先生方が用意したプリントから自分で選択して黙々と取り組みました。

